

た ん し ま こ と

田 主 誠 展

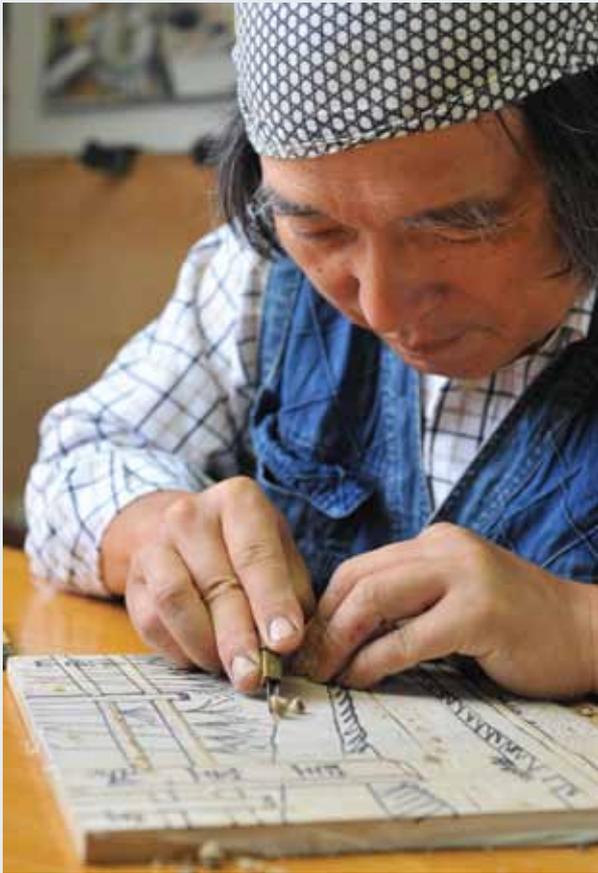
二期・康成の空

2024年 2月17日(土) ～ 3月25日(月)

茨木市立 川端康成文学館ギャラリー企画

Ibaraki Municipal Kawabata Literature Hall

場所：川端康成文学館 ギャラリー 休館日：火曜日・祝日の翌日
時間：9時～17時 入館料：無料



田主誠 (撮影：竹田武史)

1942年京都府舞鶴市生まれ。
1969年から日本内外の版画展に出品し、数々の賞を受賞。1977年国立民族学博物館開館当初から1993年に退官するまで深くかかわる。
1999年から川端康成作品シリーズを発表。
川端康成文学館での「川端康成の少年時代」展を1999年から2022年までの間に7回開催、2019年には茨木市立ギャラリーでも開催。
2023年逝去。

著書

『川端少年の歩いた道』(自費出版)

『世界民族博物誌』(八坂書房)

『心の旅西国三十三所』(編集工房 is)

など

茨木に住み、版画家として多彩な作品を残した田主誠さん。そのライフワークの一つが、茨木ゆかりの作家・川端康成の少年時代を描いた作品群でした。川端の小説や日記・随筆を深く読み込み、ゆかりの地を歩くことから生まれた作品には、茨木のまちと川端少年の日常とが生き生きと映し出されています。

田主さんの一周忌にあたり、川端康成文学館では、川端少年と茨木を描いた作品群をご紹介します。田主さんがよみがえらせた在りし日の茨木の姿と、川端少年の青春の日々をお楽しみください。



木版画「いのちの道」 2018年制作
文学館刊行作品集『川端と茨木』表紙など



茨木市立川端康成文学館

〒567-0881

大阪府茨木市上中条2丁目11番25号

Tel 072-625-5978

